

QR Code OTP c610 利用マニュアル



「QR Code OTP c610（以下、OTP c610 と言う）」をご利用いただき、ありがとうございます。

本資料は、OTP c610 の利用方法を説明します。

【目次】

1. OTP c610 の概要	2
1.1. 各部の名称及び機能	2
2. 操作方法	3
2.1. OTP c610 の起動	3
2.2. QR コードのスキャン&アカウントの登録	3
2.3. ワンタイムパスワードの表示	6
2.4. 登録済みアカウントの削除	7
2.5. OTPc 610 の電源をオフにする	7
2.6. OTPc 610 の時刻再設定（時刻同期）	8
3. 製品仕様	11

1. OTP c610 の概要

OTP c610 は内蔵カメラを備え、スマホアプリ（Microsoft Authenticator、Google Authenticator、Salesforce Authenticator 等）の代わりに、QR コードをスキャンして、MFA（多要素認証）プロセスのコード（数字 6 桁のパスワード）を生成する認証器（Authenticator）です。

1.1. 各部の名称及び機能



2. 操作方法

2.1. OTP c610 の起動

OTP c610 中央の操作ボタンを 3 秒長押しすると、電源が入ります。

バージョン情報が表示された後、自動的に【アカウント一覧画面】に遷移します。

- ※ 内蔵ボタン電池が電力不足の場合、バージョン情報の下に、**[Warning] OTP Button battery Empty** が表示され、利用が不可となります。新しい OTP c610 を購入してご利用ください。
- ※ アカウント情報が登録されていない場合は、アカウント一覧に【+】のみ表示されます。



2.2. QR コードのスキャン&アカウントの登録

- 1、【+】が選択された状態で、【登録】に対応する中央のボタンを押します。



2、QRコードをスキャンするメッセージが表示されます。[次へ] に対応する中央のボタンを押します。



3、QRコードを枠に合わせて読取ります。正しく読取ると、アカウント情報が一覧に表示されます。



※読み取り不可の QR コードの場合は、下図のように「登録外の QR コードです」とエラーが表示されます。
[戻る] に対応する左ボタンを押すと、QR コードの読み取り画面に戻ります。



OTP c610 は最大 3 つアカウントが登録可能です。
アカウントを追加登録する場合、[切替] に対応する左ボタンを押して、[+] に切替えてから、[選択] に対応する中央のボタンを押してください（詳細は上記のステップ 2 と 3 をご参照ください）



2.3. ワンタイムパスワードの表示

1、アカウントを選びます。

※ [切替] に対応する左ボタンを押して、アカウントを切替えます。



2、[選択]に対応する中央のボタンを押すと、アカウント及び OTP が表示されます。

- ※ 生成されたワンタイムパスワードは、各サービスの仕様により 30 秒または 60 秒ごとに更新されます。
- ※ 内蔵ボタン電池が電力不足の場合、OTP が表示されず、[Warning] OTP Button battery Empty が表示され、利用が不可になります。新しい OTP c610 を購入してご利用ください。



3、生成されたワンタイムパスワードを認証画面に入力し、認証を行います。

2.4. 登録済みアカウントの削除

- 1、アカウント一覧の[選択]に対応する中央のボタンを押して、アカウント及び OTP を表示します。
- 2、OTP 表示画面内の[削除]に対応する右のボタンを押します。
- 3、確認画面の[削除]に対応する中央のボタンを押すと、対象のアカウントが削除されます。



- ※ OTP c610 のアカウント情報を一旦削除すると OTP c610 を利用した認証ができなくなりますので、ご注意ください。
- ※ OTP c610 内のアカウント情報を削除しても、AzureAD や Google サーバーの認証方法は削除されませんので、サーバー側の認証方法も同時に手動で削除する必要があります。

2.5. OTP c610 の電源をオフにする

下記、いずれかの方法で、OTP c610 の電源をオフにします。

- ・ 画面に表示された [閉じる] に対応するボタンを押す。
- ・ 画面中央のボタンを 3 秒長押しする。
- ・ 1 分間、無操作にすると電源がオフになる。

電源をオフにする際は下記の画面が表示されます：



2.6. OTP c610 の時刻再設定（時刻同期）

OTP c610 はボタン電池及びクロックを内蔵しているため、経年と共に時刻のズレが発生します。一定以上のズレが発生した場合、OTP c610 で生成されたワンタイムパスワードコードにて認証が不可となるため、時刻の再設定（時刻同期）が必要となります。

OTP c610 のタイムサーバーにアクセスし、正しい時刻情報を含まれる QR コードをスキャンすると、時刻同期が可能です。時刻同期の方法は下記で説明します。

〔時刻同期方法〕

- 1、下記 OTP c610 製品のタイムサーバーにアクセスすると、QR コードが表示されます。

<https://timesync.rakunin.co.jp/>

※ QR コードには時刻情報が含まれており、2 秒ごとに変化します。

- 2、OTP c610 の〔左＋中央〕の操作ボタンを 3 秒長押し、電源をオンにします。

OTP c610 のソフトウェアバージョンが表示された後、時刻再設定画面に遷移します。〔次へ〕に対応する中央のボタンを押します。



- 3、QRコードをスキャンするメッセージが表示されます。[次へ] に対応する中央のボタンを押します。



- 4、タイムサーバーの QR コードを枠に合わせて読み取ります。時刻が正しく設定されると、[時刻が正しく設定されました] が表示され、[閉じる] に対応する中央のボタンを押して、設定完了になります。



※ タイムサーバー以外のQRコードをスキャンすると、下図のように「時刻設定対象外のQRコードです」とエラーが表示されます。[戻る]に対応する左ボタンを押すと、QRコードの読取り画面に戻ります。



タイムサーバーのQRコードには時刻情報が含まれているため、数秒間隔で変わります。時刻を同期する際、都度タイムサーバーにアクセスして最新のQRコードで同期してください。

※ タイムサーバーのQRコードを画面キャプチャーとして保存して利用する場合、OTP c610に設定された時刻は古い時刻となり、利用できない恐れがありますので、ご注意ください。

3. 製品仕様

外装材質	ABS
寸法	94×50×16mm
重さ	75g（単4電池×3本を含む）
画面	2.4型 TFT 液晶
カメラ	30万画素
言語	日本語
バッテリー	液晶表示用：単4電池×3本（交換可能） TOTP用：ボタン電池（内蔵／交換不可）
作業温度	-10℃～50℃
保管温度	-20℃～70℃
使用湿度	5～95%（結露無きこと）

以上